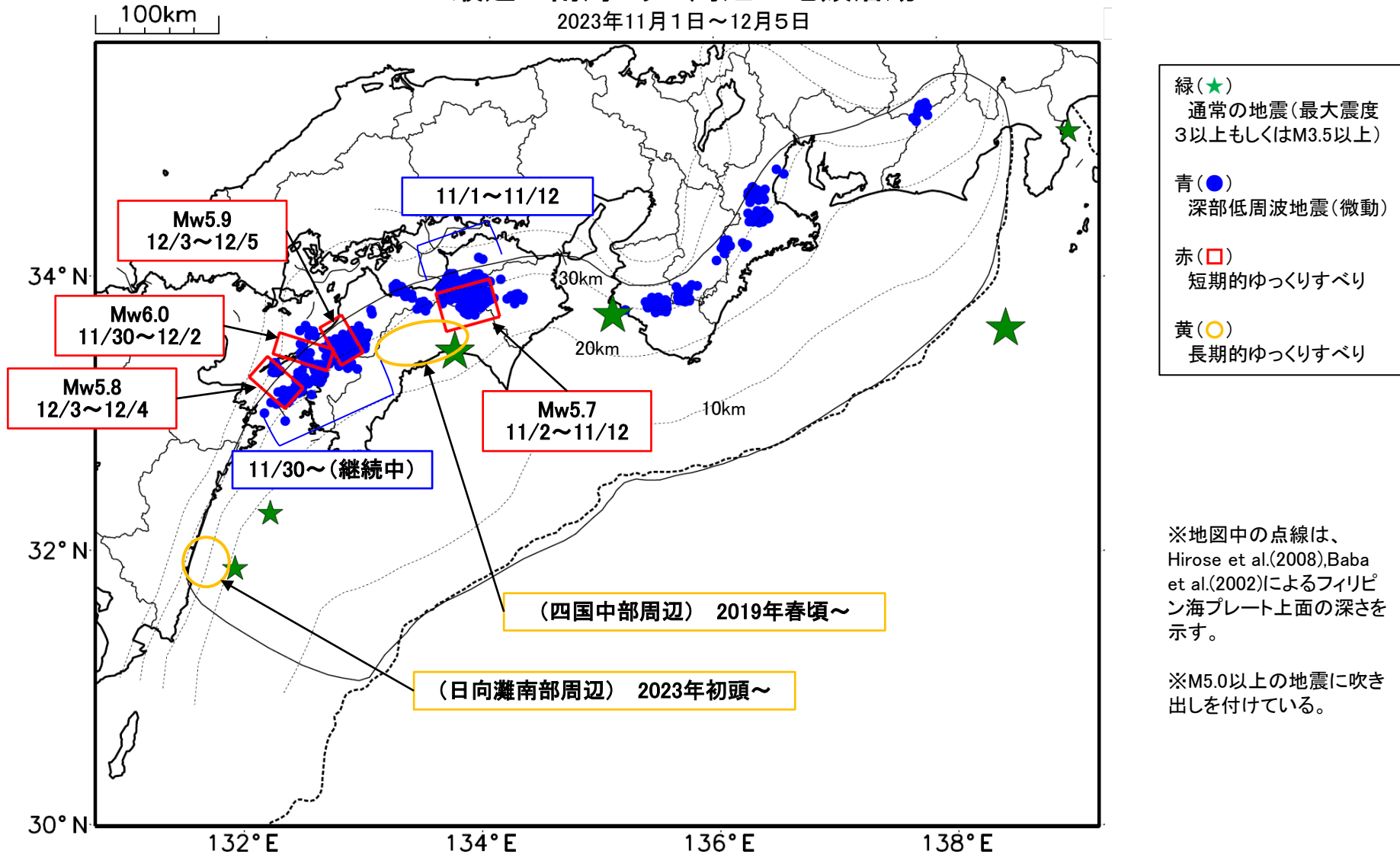


最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2023年11月1日～12月5日



- 緑(★)
通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●)
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【四国東部、四国西部】気象庁の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、日向灘南部周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

令和5年11月1日～令和5年12月5日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
11/1	07:34	紀伊水道	46	4.9	3	フィリピン海プレート内部
11/10	10:54	土佐湾	30	4.3	3	フィリピン海プレート内部
11/12	02:24	東海道南方沖	-	4.5	1	フィリピン海プレート内部
11/27	02:05	日向灘	23	3.8	1	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界
12/1	19:01	日向灘	37	3.6	1	フィリピン海プレート内部
12/4	11:21	伊豆半島東方沖	7	3.9	3	フィリピン海プレートの地殻内

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<p>■四国東部</p> <p>11月2日～12日^{注1)} . . . (1)</p> <p>11月15日</p> <p>11月22日～23日</p> <p>11月30日</p> <p>12月2日～（継続中）</p> <p>■四国中部</p> <p>11月5日</p> <p>11月11日～12日</p> <p>11月19日～21日</p> <p>11月23日～25日</p> <p>12月4日～（継続中）</p> <p>■四国西部</p> <p>10月30日～11月5日</p> <p>11月9日～11日</p> <p>11月13日～15日</p> <p>11月19日</p> <p>11月24日～26日</p> <p>11月30日～（継続中） . . . (2)</p>	<p>■紀伊半島北部</p> <p>11月19日</p> <p>11月22日～23日</p> <p>11月27日～28日</p> <p>12月3日～（継続中）</p> <p>■紀伊半島中部</p> <p>10月30日～11月2日</p> <p>11月27日～28日</p> <p>12月2日～3日</p> <p>■紀伊半島西部</p> <p>11月10日～12日</p> <p>11月16日～17日</p> <p>11月23日</p>	<p>11月24日</p>

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）、（2）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたものの。

注1）防災科学技術研究所による解析では、11月1日頃から微動活動が見られた。